

■アジア：日本の海外直接投資、カンボジア、ラオス、ミャンマー、ベトナムへ

2016年2月1日付の記事によると、最近、日本企業の投資先が、カンボジアとラオス、ミャンマー、ベトナムに向かいつつある。JETROによれば、2015年の日本の海外直接投資のうち、これら4カ国への投資は全体の1.5%未満であるが、増加しつつあり、投資の利点が少なくとも2点ある。日本企業は一旦投資すると、長期間にわたって投資先で事業を進めること、日本企業には、OJT研修や技術・知識移転を通じて、現地従業員や投資パートナー、現地企業などを支援しようという姿勢を示す企業が多いことである。